No. 1

1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4、文章の構想をしっかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（八月二十八日　月曜日）

ボランティアへの向き合い方

鹿屋市立鹿屋中学校　二年　浅井美結

私は最近、自分の身の回りで小学校の頃毎日のように聞いていた「ボランティア」という言葉を聞くことが減ったように感じています。なので、私たちのボランティアへの向き合い方が変わってしまったのか考えてみようと思いました。

私たちの小学校では、「ボランティアの木」という取り組みがありました。児童一人一人が一日に行ったボランティア活動を紙に書き、それを校舎の柱に貼られた木に貼り付けます。紙には靴並べやゴミ拾いなど様々なことが書かれていました。私が気付かなかったところの片付けや先生の手伝いなどもあり、「ボランティアの木」を見ることで、次の活動へヒントをもらえました。貼られた紙がいっぱいになると、今まで書いた紙の上から新しい紙が貼られます。これを見ると「これからも続けていこう」という達成感や継続力が芽生え

鹿屋中学校

5、読みやすいように、、と。とをしっかりつけましょう。、と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6、人が話したところは、「　」のなかに入れましょう。「　」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかり使いわけましょう。
8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

20×20

1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4、文章の構想をしっかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（八月　二十八日　月曜日）

No. 2

鹿屋中学校

ました。

中学校では、有志の生徒によるのA十十（へ先チあいさつ隊）という活動があります。この A十十は言葉通り、毎朝正門の前に立ちあいさつ運動を行います。大きな声であいさつをすることで気持ちよく一日のスタートを切ることができます。その他にも学年ごとに一分間清掃などが行われています。そのため、小学校での全員参加のボランティア活動とは異なり、希望制なので参加者が少なく感じられます。私も最初は、ボランティアに対する意識が低くなっているのではないかと思っていましたが。しかし、学校での様子をよく見てみると、休み時間に先生の手伝いをしたり、廊下に落ちているゴミを拾ったりと、「ボランティア」といわれなくても人のためにさまざまな活動をしている人が多くいることに気付きました。また、視野を広げてみると、学校では地域や外部指導の方々が、仕事も忙しい中、コー

20×20

5、読みやすいように、、と。とをしっかりつけましょう。、と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかり使いわけましょう。
8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

No. 3

1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4、文章の構想をしっかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（八月二十八日　日曜日）

鹿屋中学校

学校のような取り組みが普通なのかもしれません。でも、ボランティアと言われていなくてもいいと思います。

自主的に行う社会に貢献する活動なので、中学校でのボランティアはそもそもとが分かりました。ボランティアの取り組みの仕方に違いがあることから、小学校と中学校でのボランティアだそうで、その期待を裏切らないように、私たちも全力で朝トレや部活動を頑張っています。

これらのことから、小学校と中学校でのボランティアの取り組みが普通なのかもしれません。でも、ボランティアと言われていなくても行動に移せる人たちの人間性は素敵だと思いました。その一方で、自主制であることによって、消極的な人がいることも事実です。

私は、「誰かのために」の活動は自分にもよい影響があると思っています。それに、困った時には助け合える習慣があることは、もしも時にありがたいと思います。なので、参加して損はないボランティア活動を、もっと学校全体に、地域全体に広めていきたいです。

5、読みやすいように、、と。とをしっかりつけましょう。、と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6、人が話したところは、「　」のなかに入れましょう。「　」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかり使いわけましょう。
8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

20×20